

2025年12月10日 第96回運輸政策セミナー  
交通サイバーセキュリティ XⅢ  
～鉄道分野におけるサイバー攻撃対策と事業継続の取り組み～  
大高事務局長 閉会挨拶

運輸総合研究所事務局長の大高でございます。閉会に当たり一言申し上げます。

本日、ご登壇いただいた国土交通省の長井様、JR東日本情報システムの関口様、サイバーセキュリティアドバイザーの名和 様、情報セキュリティ大学院大学の後藤 様におかれましては、サイバーセキュリティに関する国、企業の取り組み、最新のサイバーの脅威と事業継続のための要諦について、貴重なご講演、熱心なご議論をいただき誠にありがとうございました。

また、本日は、会場に約45名のみなさま、オンラインで約850名のみなさまの参加申し込みがあり、これまでに比べ参加人数が大幅に増えたことは、みなさまのサイバーセキュリティや経済安全保障に対するご関心がたいへん高まっていることを示しているものと考えます。

ご参加いただいた多くのみなさまに改めて御礼申し上げます。

安定的かつ安全にヒトやモノの移動を担う交通運輸産業において、サイバー攻撃による事業の停止や顧客情報の漏洩は、経営責任であるとのことご講演もございました。

日頃の経営層、現場、技術部門の連携・協力、サイバーセキュリティのための人材と投資の確保、サイバー攻撃を前提としたシナリオの準備のほか、被害を受けた際の初動 24 時間の動き方などについて多くの示唆をいただきました。ご参加のみなさまの今後のサイバーセキュリティの取り組み、体制の構築に役立てていただきたいと思います。

当研究所では今後とも、交通サイバーセキュリティについて、セミナーの開催や「運輸総研サイバーセキュリティ通信」を通じて、皆様と共に最新の取り組みを共有してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、当研究所の運営に多大なご理解、ご協力をいただきありがとうございます日本財団にも改めて御礼申し上げます。また、今回のセミナーにご後援いただいた交通ISACのみなさまにも心から御礼申し上げます。

この後、セミナー等の今後の予定のお知らせがあります。また、アンケートへのご協力も、よろしくお願いいたします。

本日は、最後までご参加いただき、誠にありがとうございました。

以上